

第 61 回(令和7年度)

JA共済茨城県小・中学生書道コンクール作品募集要項

1 趣旨

J A共済は、組合員・利用者の皆さまが、住み慣れた地域で、健康で安心して暮らせる豊かな環境づくりに貢献するために、地域の皆さまとの絆を大切にしながら、地域貢献活動に取り組んでいます。

その一環としてJ A共済の理念である「相互扶助」や思いやりの精神を、次代をになう小・中学生にも伝えていくとともに、児童・生徒の書写、書道教育に貢献することを目的として「書道コンクール」を開催します。

2 応募資格

農業協同組合（以下「J A」という。）の所在区域内の小学校、中学校および義務教育学校、中等教育学校、特別支援学校等の小学部・中学部（以下小・中学校という。）に在籍する児童・生徒とします。

3 応募方法および応募締切日

各小・中学校ごとに応募作品のうちより各学年、条幅・半紙の部別に各 1 点（ただし、1 学年が3 学級以上の場合は2 点）を学年審査対象作品として、J A共済茨城県小・中学生書道コンクール作品出品報告書を添えて、学校所在区域内のJ Aへ令和7年9月12日（金）までに搬入してください。

4 応募点数

応募作品は、**1 人につき条幅の部・半紙の部どちらか 1 点**とし、作品は返却しないものとします。

5 課題

区 分		条 幅 の 部	半 紙 の 部
小 学 生	第 1 学年	や さ い	わ ら
	第 2 学年	す ば る	め ば え
	第 3 学年	せ み の 声	た ね ま き
	第 4 学年	食 を 育 む	結 実
	第 5 学年	耕 す 大 地	流 れ る 雲
	第 6 学年	不 断 の 努 力	生 命 の 源
中 学 生	第 1 学年	歴 史 を 紡 ぐ	相 互 理 解
	第 2 学年	協 同 の 精 神	農 業 振 興
	第 3 学年	信 頼 の 醸 成	晴 耕 雨 読

6 作品応募規格

(1) 応募作品

①用紙

- ・条幅・半紙とも美濃判等一般的に使用されるものと異なるサイズの紙は使用しないでください。
- ・作品は表装、裏打ち、押印等はしないでください。
- ・紙のサイズは下記サイズより長短3cm程度までは可とします。

ア 条幅の部

画仙紙半切（タテ約136cm×ヨコ約35cm）

イ 半紙の部

半紙（タテ約33cm×ヨコ約24cm）

ウ 書体

小学生は楷書、中学生は楷書または行書とします。

エ 字体

小学校の学習指導要領の学年別漢字配当表に示す字体に準ずるものとします。

②学年・氏名の記入方法

作品への学年・氏名の記入方法は次のとおりとします。（図例1および図例2）

(学年)	(氏名)
○ 年	○○○○

ア 小学校第1学年および第2学年

学年・氏名とも「漢数字」「漢字」「ひらがな」いずれでもかまいません。

氏名がカタカナの場合はカタカナ表記とします。

ただし、アラビア数字は使用しないでください。

イ 小学校第3学年以上

学年は「漢数字」、氏名は「漢字」とします。

氏名がひらがなの場合はひらがな表記、カタカナの場合はカタカナ表記とします。

なお、次の(ア)～(エ)(図例3～6)に該当する作品は審査の対象になりません。

- (ア) 学年・氏名のないもの(図例3)
- (イ) 小・中学校の別を記入したもの(図例4)
- (ウ) 学校名を記入したもの(図例5)
- (エ) 学年・氏名の順を誤って記入したもの(図例6)

正しい書き方		誤った書き方			
図例1	図例2	図例3	図例4	図例5	図例6
一年 共 済 太 郎	○ ○ 共 一 済 年 太 郎 ○		小 学 校 一 年 共 済 太 郎	梅 香 小 一 年 共 済 太 郎	一 共 年 済 太 郎
名札	名札	名札	名札	名札	名札
		学年・氏名のない もの	小・中学校の別を 記入したもの (小1も不可)	学校名を記入し たもの	学年・氏名の順を 誤って記入した もの

※義務教育学校等の学年表記については学校の考え方に準じ、「七年、八年、九年」の記載を可能とします。

※②学年・氏名の記入方法イにおいて、小学校第3学年以上の児童は学年・氏名を漢字で書くようにと示しておりますが、平成14年度からの小学校学習指導要領では、漢字の「書く」指導について、1学年上の学年で書けるようにするという弾力的な指導が示されたことから、氏名の漢字の使用については中学年（小3・小4）以上の原則は守りつつも、難しい漢字につきましては弾力的な対応をいたします。従って、小学校第3学年以上で氏名がひらがなだからとの理由のみで選外とすることは避けてください。

（2）名札のはりつけ・記入方法

所定の名札の用紙に県名、学校名、学年、氏名、所属JA名（同封の「作品搬入先JA一覧表」を参照のこと）を明記し、応募作品ごとに**左下**に必ずのり付けするものとします。（セロハンテープ不可）
なお、作品の氏名と名札の氏名は同一表記としてください。

〈名札の形式〉

作 品	
県 名	茨 城 県
フリガナ	
学校名	_____市・町・村 立 学校
学 年	_____年
フリガナ	
氏 名	
フリガナ	
JA名	JA

〈名札の記載例〉

作 品	
県 名	茨 城 県
フリガナ	ミシリツ バイコウ
学校名	水 戸 (市)町・村 立 梅香小 学校
学 年	3 年
フリガナ	キョウサイ タロウ
氏 名	共 済 太 郎
フリガナ	バイコウ
JA名	JA 梅 香

※出品報告書および名札は、JA共済ホームページ (<https://social.ja-kyosai.or.jp/contest/index.html>) よりダウンロードが可能となりましたのでご活用ください。

7 審査

（1）審査方針

- ① 規模雄大にして健康的なもの
- ② 習熟した穏健なもの
- ③ 個性的で清新なもの

（2）審査方法

次の者で構成する審査会にて審査します。

川又 南岳、齋木 久美、植松 陽子、井坂 孝、兼子 さち子、橋本 清文、服部 仁一、羽子田 周一、開田 晃央、櫻井 弘次、坂本 要

8 賞

（1）金賞、銀賞、銅賞、佳作

学年審査対象作品（3の応募方法および応募締切日の項参照）の中から、入賞作品として各学年、条幅・半紙の部別に金賞各1点、銀賞各3点、銅賞各5点、佳作各10点を選出します。

（2）特別賞

金賞のなかから選出します。

（3）奨励賞（学校推薦作品）

全学年において条幅・半紙の部それぞれ1点以上出品した学校については、学年審査対象作品のなかから1点を奨励賞としますので、作品出品の際にあらかじめ奨励賞候補作品を1点推薦してください。ただし、上記（1）の入賞作品が選出された学校は対象外とします。

(4) 学校賞

特に書道コンクールに貢献のあった小学校1校、中学校1校

(5) 賞品

①特別賞

賞状、記念品

②入賞

ア 金賞

賞状、楯、参加賞

イ 銀賞、銅賞、佳作、奨励賞

賞状、参加賞

③学校賞

賞状、記念品

④入選（上記①、②を除く審査対象作品）

参加賞

9 入賞者の発表

金賞・銀賞・銅賞・佳作の入賞者について、学校名、学年、氏名を茨城新聞紙上にて発表します。

10 表彰

- (1) 金賞・銀賞受賞者に対しての表彰式を、令和7年11月8日（土）に水戸市大工町「ホテル・ザ・ウエストヒルズ・水戸」において行います。
- (2) 銅賞・佳作・奨励賞の賞状・参加賞、および学校賞・入選の参加賞は、JAを通じて各学校へ送付いたします。

11 展示会

金賞・銀賞・銅賞の作品を令和7年11月7日（金）から11月9日（日）までの3日間、水戸市泉町「京成百貨店」に展示します。

12 全国コンクールへの参加

本コンクールにおいて、入賞した金賞受賞作品18点を全国コンクールに出品します。

13 著作権等の扱いについて

入賞作品の著作権および作品の二次使用等にかかる一切の権限は、応募のときから期間の制限なく各農業協同組合および全国共済農業協同組合連合会茨城県本部に帰属するものとします。

14 個人情報について

応募者氏名、学校名等については、応募者名簿を作成する等のコンクール業務に必要な範囲でのみ利用いたします。また、上位入賞者については、上記13のとおりとしますのでご了承ください。

15 主催、後援団体

主 催	農業協同組合	
	全国共済農業協同組合連合会 茨城県本部	
	茨城新聞社	
後援団体	茨城県	茨城県議会
	茨城県教育委員会	茨城県学校長会
	茨城県教育研究会	NHK水戸放送局
	LuckyFM 茨城放送	家の光協会
	日本農業新聞	茨城県農業協同組合中央会

附則 当コンクールは令和7年7月から実施します。